

19 自治体DXをすすめるためのフレームワーク研修

～DXが進んだ未来における最適な解決法を体系的に学ぶ～

目 的	DXが進んだ未来における、望ましい姿（自組織や地域社会）を描き、目指す姿に近付くために必要となる「デザイン思考法（デザインシンキング）」を実践的に学ぶ。
内 容	(1) DXの定義とIT化との違いなど、DXに関する知識、理解度の共有を図る。 (2) デザイン思考による課題解決のプロセスをもとに観察・フィールドワークに取り組む。 (3) 取り組むべき地域社会の課題を明確化し、アクションプランにまとめる。
実 施 月 日	【第1回】 8月9日（火） 【第2回】 9月7日（水）
対 象 者 員	・ 中堅職員キャリアアップ研修対象者で受講を希望する県職員 24名 ・ 係長級キャリアアップ研修対象者で受講を希望する県職員 12名
昨 年 度 受 講 者 の 声	※新規講座のため、昨年度の実績なし

日 程 表

第1回 令和4年8月9日（火）

8:50	9:20	9:30	12:00	13:00	16:30
受付	オリエンテーション	1 DXとは ・ DXの定義化とIT化との違い ・ DXの3段階 ・ 自治体におけるDX事例 2 デザインシンキングと県民起点 ・ デザインシンキングとは ・ 重要な3つの領域 ・ ロジカルシンキングとの違い	昼食	3 創造的課題解決プロセス ・ 課題解決プロセス ・ 観察とフィールドワーク 4 クロージング ・ 次回までに取り組むこと	アンケート・閉講

第2回 令和4年9月7日（水）

8:50	9:20	9:30	12:00	13:00	16:30
受付	オリエンテーション	5 事前課題の共有 6 創造的課題解決プロセス ・ 取り組むべき課題の明確化 ・ 観察案の創出	昼食	7 DXの目的と手段 ・ 目的としてのDX（Society5.0） ・ 手段としてのDX（効率化・自動化） ・ 観察とフィールドワーク ・ 効果と効率を踏まえたDX推進 ・ アクションアイデア 8 クロージング	アンケート・閉講

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、ご承知おきください。